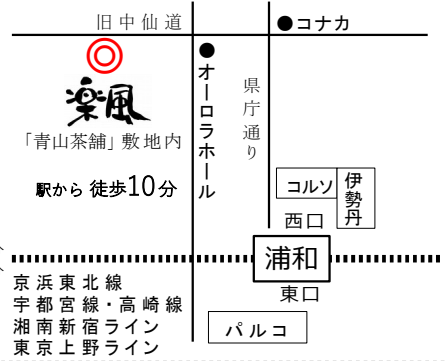


楽風

日本茶喫茶・ギャラリー

さいたま市浦和区岸町4-25-12 ☎330-0064
048-825-3910
午前10時～午後7時・水曜日定休
rafu-ururwa.com



3月

4月のご案内

早春、融け残った雪が点在する畑の土はふつくと黒くて、いい匂いがすること。むせかえるような新緑の季節の昼下がり、溢れんばかりの生命力に囲まれながら、しんと静かなときがあること。夏が疲れた果ての9月のある日、新しい涼しさが生まれたと感じる朝が訪れること。雪が降り出す前の夜空は灰色の中に赤みがかかっていて、何かそわそわしていること。“そうそう”と思っていただけのものがあつただろうか？

こう書いてみると、五感を使って、時には第六感まで交えて、季節を感じているのかもしれない、と思う。昔、古文の授業で『春はあけぼの… 夏は宵… 秋は夕暮れ… 冬はつとめて(が良い)』という枕草子の冒頭に共感してひとり頷いていた、変わった男子高校生だった僕。でもこんなふうな季節のもたらす機微に敏感なもの、こういう環境に生まれ育ったおかげだろう。

楽風の春は桜。最初の一輪から葉桜の中のひとひらまで、また一緒に楽しみましょう。

店主 青山守一



3/2(木)は、山本祐司展オープニングパーティのため5時閉店(4:30オーダーストップ) 2階ギャラリーはご覧いただけます

1階 喫茶

10時～7時 オーダーストップ 6:30

煎茶、くき茶、荒茶など、様々な日本茶をお楽しみいただけます。器や雑貨の販売も。

サービス茶

メニューから一種類、50円引きで提供いたします。

3月4月のサービス茶 ぐり茶

◎お茶 486円 ⇒ 432円
◎セット 815円 ⇒ 761円 (和菓子かケーキ付)

揉みの工程の最後、精揉(せいじゅう)は茶葉のよりを伸ばしながら針のような形に整える工程。これを省いて仕上げたものがぐり茶です。よりが残っている、ぐりとした形をしているので、ぐり茶。さっぱりした味をお好みの方におすすめです。

物品販売コーナー

喫茶で使用する器など定番商品のほか、期間限定の品も。

3月 春田香歩の桜染手袋、柿渋染コースター、草木染の本

散歩や家事に大活躍の綿手袋、柿渋で染めたコースター、豊富な写真とイラストで分かりやすい草木染の本など。

3月～ 梨園染 戸田屋商店の手ぬぐい

つばめ、撫子、たんぼぼ…。

※7月、2階ギャラリーにて埼玉初の展覧会を開催！

☆定番商品：湯呑、急須、湯冷まし、茶缶など 新茶を美味しく淹れる準備を始めませんか。

新茶

4/1(土)受付開始

ご予約は青山茶舗へ！
048-822-2953

1階 ワンクリエイターコーナー

10時～7時 最終日は3時頃まで

手作り小品の委託販売コーナー。気軽な作品発表の場です。

小原民子の 陶のうつわ 3/2(木)～14(火) 8(水)休

美術大学ではテキスタイルデザインを専攻。のちに陶芸家に師事し、訓練校で学びつつ作陶にとりくむ小原さん。笠間の土から生まれた鉢や碗や花器。そしてフタものは箱型あり、円錐型あり、鳥や家型も。素朴な雰囲気の中にデザイン性を併せもつ器がお目見えます。

永島真依子の 樹脂アクセサリー 3/17(金)～31(金) 22(水)、29(水)休

淡い紫、オレンジ、ブルー… わあきれい、と思わず手に取りたくなるバレッタは本物の花を樹脂加工したもの。永島さんの手による髪飾りやストラップは、リアルな世界と樹脂という素材の融合から生まれました。花咲く季節にふさわしいお洒落なモノたちがコーナーを彩ります。

川見裕香の 手作り陶器 4/1(土)～15(土) 5(水)、12(水)休

シンプルに成形された皿や鉢や湯呑に施された鉄釉の趣ある茶赤、瑠璃釉の深い青、萩釉のやさしいピンクベージュ…。「色への思いがある」そう語る川見さんの陶歴はまだ始まったばかり。作るのが面白くてたまらない、そんな様子がストレートに伝わってくるようです。

みやしたゆみの 紙雑貨 4/16(日)～30(日) 19(水)、26(水)休

たとえば時計の図柄と活版印刷の活字がお洒落なシルクスクリーンのミニバッグや紙箱、しおり。たとえば三角、丸、ひょうたん、三日月…形の組合せとほわっとした色が可愛いゴム版のメッセージカード。さり気なく楽しい、みやしたさん手作りの紙雑貨がいろいろ。